

令和 3 (2021)年度  
FD・SD 活動報告書

大阪河崎リハビリテーション大学

FD・SD 委員会

## 目 次

はじめに	2
活動の概要	3
1. 令和3年度FD・SDへの取り組み理念・目的	3
2. FD・SD活動の組織・体制	3
3. 活動実績	3
4. FD・SD研修会記録	6
5. 授業評価アンケート分析結果	13
FD・SD委員会規程	20

## 《はじめに》

本学を取り巻く状況は大変厳しい中、大学として最も重要な教育とそれを支える教職員の教育法や資質向上、情報交換のために、2021年度も多数のご協力を得てFD・SD活動を行ないました。今後の参考と資料とするために、2021年度FD・SD研修会の実施内容、授業評価集計結果等を活動報告書としてまとめました。各層で有意義にご活用頂ければ幸いです。

本学では平成19年度より開講される授業について、受講者による評価を開始しました。本年度も、学生の皆さんと、非常勤をお願いしている先生方も含めた担当教員の多大なるご協力を得て、事務方には各授業に対する取りまとめを含め大変な作業をしていただき、後半部にまとめることができました。関係の皆さんに厚く御礼申し上げる次第であります。

授業評価のねらいは、本学で行われるもっとも重要な教育活動である授業を、少しでもより良いものに向き上げていくことでもあります。そのために、実際に授業を受ける立場である学生諸君に積極的な評価をしていただき、成績評価等には関係が生じないよう十分な配慮をした上で、集計しました。この報告書には本学の開講授業全体でまとめた、各質問項目別の集計結果を記載してあります。実際の各授業科目別の集計については、個別にフィードバックを行います。現段階では、諸般の事情を鑑み、各科目別集計結果をそのまま公表するところまでは踏み込んでいません。各担当の先生方には、個別に、自らの授業設計や講義運営についての忌憚のない評価結果を、まずはこの報告書にもある全体平均と比べながらご判断いただき、間に合えば残りの授業反映していただきました。その上で、学生さんへの授業の受け取られ方を、各項目が示している様々な面から自己評価して、今以上に工夫してより良い授業を行うように自己研鑽に励んでいただいています。

令和3年度も、今までに頂いた意見を基に遠隔授業に関する項目も加えて評価項目の改定を行いました。授業評価を行うことで少しずつであるが有意義な効果が出ているものと思われれます。もちろん、評価する側の学生にとっても、授業への取り組みを今一度真剣に考える機会になっていることを期待するものです。今後教員層による相互評価も含め、各種検討課題を考慮しながら、授業評価をかさねることで、先生方による本学の開設授業がいずれもすばらしいものにさらに向上発展していくこと、授業を受ける学生諸君が、よりよい授業に触れて素晴らしい療法士に育ってくれることを、FD・SD委員会を代表して切に願うものであります。また、アンケートの取りまとめと報告書作成はFD・SD委員会が担当しましたが、アンケートの実施は事務局学務係を中心に分担し、分析についてはIR室の協力を得て行いました。末筆ながら委員会各位、担当事務職員の方々のご協力に感謝いたします。

2022年5月

FD・SD委員会 委員長 坪田裕司

## 活動の概要

### 1. 令和3年度FD・SDへの取り組み理念・目的

建学の精神「夢と大慈大悲」、教育理念「知育と人間性を育む」を達成するために、FD・SD活動を通じて教育・研究活動等を活性化させる。

大学全入時代に突入し、本学学生が学力不足であることは否めない。専門にとらわれず、大学生として（あるいはセラピストとして）求められる基礎的な学習技能や学修態度（倫理的思考、批判的思考）について大学教育を通じて培う必要がある。

そのため、教職員の教育・研究活動等の能力向上を図る必要がある。FD・SD研修や授業評価等を行い、授業の内容及び方法の改善等を目的とする。

以上の理念・目的から、教職員は本研修に必ず参加することとする。

### 2. FD・SD活動の組織・体制

FD・SD委員会を中心に実施し、各種委員会と適宜連携して取り組む。

### 3. 活動実績

#### (1) FD・SD研修会

令和3年度は以下のテーマで全7回のFD・SD研修会を開催した。欠席者に対しては、研修内容の動画の配信及び資料の配布によるフォローアップを行った。

2021 年度 FD・SD 研修会実績

回	日程	テーマ	参加者数
第 1 回	4 月 14 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 建学の精神と事業計画（武田学長）</li> <li>■ 2021 年度の授業体制について（教務委員会）</li> <li>■ 障がいを持つ学生への支援について （学修支援委員会）</li> </ul>	教員 36 人 職員 25 人
第 2 回	5 月 14 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 修学支援制度と GPA の活用について （教務委員会）</li> <li>■ 2021 年着任教員 自己紹介を含めた研究発表について</li> <li>■ 2020 年度後期授業評価フィードバック （FD・SD 委員会）</li> <li>■ 遠隔授業時における課題等のフィードバック方法について （FD・SD 委員会）</li> </ul>	教員 29 人 職員 24 人
第 3 回	8 月 24 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ コンプライアンス教育（事務局長）</li> <li>■ 研究倫理教育（研究倫理委員会）</li> <li>■ 科研費説明（総務課長）</li> </ul>	教員 37 人 職員 29 人
第 4 回	10 月 5 日 ~31 日 動画配信	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 2020 年度学内共同研究発表 （2020 年度学内共同研究費採択者 3 名）</li> </ul>	教員 23 人 職員 21 人
第 5 回	9 月 15 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 2021 年着任教員 自己紹介を含めた研究発表について</li> <li>■ GPA 評価の推移について（IR 室）</li> <li>■ 学生の学修状況の見える化と学力向上支援プロジェクト（学修支援委員会）</li> </ul>	教員 37 人 職員 29 人
第 6 回	12 月 14 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 令和 4 年度 シラバスについて （教務委員会）</li> <li>■ 令和 3 年度 前期授業評価フィードバック （FD・SD 委員会）</li> </ul>	教員 37 人 職員 30 人
第 7 回	2 月 1 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 2022 年度の入学予定者に対する入学前教育について（学修支援委員会）</li> </ul>	教員 37 人 職員 30 人

(2) 学生による授業評価アンケート

① 対象授業科目

以下の科目を除く全科目を対象に実施

(基礎ゼミ、臨床見学実習、臨床実習概論、臨床検査・測定実習、臨床基礎実習、臨床総合実習Ⅰ、臨床評価実習、臨床総合実習Ⅱ、臨床総合実習、卒業研究、卒業論文)

② 実施時期、方法

期末、web形式で実施

③ アンケート項目

「5. 授業評価アンケート分析結果」参照

④ フィードバック

個別フィードバック及びFD・SD研修会による全体のフィードバック

⑤ 回収率

前期：35.3% 後期：31.0%

回答率

前期：51.5% 後期：44.6%

⑥ 各分析結果

「5. 授業評価アンケート分析結果」参照

#### 4. FD・SD 研修会記録

研修会名	2021年度 第1回 FD・SD 研修会
実施日時	2021年4月13日（火）10：40～12：10
場所	1号館3階 第1中講義室 及び teams 配信
出席者	【教員】36名 【職員】25名 計 61名 ※動画配信での自己研修 含む

研修形式と内容	講師	研修記録（概要）
建学の精神と 事業計画	学長 武田雅俊 教授	武田学長から別添の資料をもとに建学の精神と事業計画について説明があった。
2021年度の 授業体制について	教務委員会委員長 岡田守弘 教授	岡田教務委員長から別添のスライドをもとに2021年度前期の授業体制と新入生に対する学修環境調査結果及び遠隔授業に関する課題等について説明があった。
障がいを持つ学生 への支援について	学修支援副委員長 木村秀生 教授	木村学修支援副委員長から、障がいをもつ学生に対する支援について、昨年度の下旬から学修支援委員会が中心となり活動していることの報告があった。
	作業療法学専攻 1年担任 水野貴子 講師	障がいをもつ学生が所属する作業療法学専攻1年担任の水野先生から当該学生が抱える症状や、発症時の支援方法についてスライドを用い説明があった。
	言語聴覚学専攻 1年担任 和田英嗣 助教	障がいをもつ学生が所属する言語聴覚学専攻1年担任の和田先生から当該学生が抱える症状や、発症時の支援方法についてスライドを用い説明があった。

#### 【配布資料】

・大阪河崎リハビリテーション大学 建学の精神と本年度事業計画

研修会名	2021年度 第2回 FD・SD 研修会
実施日時	2021年6月15日(火) 10:40~12:10
場所	1号館4階 第2中講義室 及び teams 配信
出席者	【教員】29名 【職員】24名 計 53名 ※動画配信での自己研修 含む

研修形式と内容	講師	研修記録(概要)
修学支援制度と GPA の活用について	教務委員会委員長 岡田 守弘 教授	岡田教務委員長からスライドをもとに修学支援制度と GPA の活用について説明があった。
2021年着任教員 自己紹介を含めた研究発表について	2021年着任教員 作業療法学専攻 白岩 圭悟 助教	2021年着任教員の作業療法学専攻白岩先生から自己紹介及び自身の研究「手工芸活動時の脳波と自律神経活動の変化」についてスライドを用いて発表があった。
2020年度後期授業 評価フィードバック (FD・SD委員会)	FD・SD委員会委員長 坪田 裕司 教授	坪田 FD・SD 委員長から資料をもとに2020年度後期授業評価アンケート集計結果について報告があった。
遠隔授業時における課題等のフィードバック方法について (FD・SD委員会)	FD・SD委員会委員長 坪田 裕司 教授	坪田 FD・SD 委員長から資料をもとに各教員による遠隔授業における課題等のフィードバック方法について報告があった。質問時には大籠先生の例が紹介された。

**【配布資料】**

- ・2020年授業評価アンケート集計結果について
- ・遠隔授業時における課題等のフィードバック方法について

研修会名	2021年度 第3回 FD・SD 研修会
実施日時	2021年8月24日(火) 10:40~12:10
場所	1号館4階 第2中講義室・オンライン研修・teams 配信
出席者	【教員】37名 【職員】29名 計 66名 ※ 動画配信での自己研修 含む

研修形式と内容	講師	研修記録(概要)
コンプライアンス教育	コンプライアンス 推進責任者 亀井 保男 事務局長	亀井 事務局長からスライドをもとに令和3年度コンプライアンス教育について講義があった。
研究倫理教育	研究倫理審査委員会委員 中村 美砂 教授	中村教授から研究倫理教育について、中西用度管財係長から研究倫理審査の申請方法についてスライドをもとに説明があり Forms を利用して研究倫理教育についての確認テストが実施された。
	研究支援室 中西用度管財係長	
科研費説明	研究支援室室長補佐 河瀬総務課長補佐	河瀬総務課長補佐から2022年度の科学研究費助成事業の公募についてスライドをもとに説明があった。

【配布資料】

- ・ 令和3年度 コンプライアンス教育・研修
- ・ 研究倫理について
- ・ 科学研究費助成事業について

研修会名	2021年度 第4回 FD・SD 研修会
実施日時	2021年10月5日（火）～ 10月31日（日）
場所	オンライン研修 オンデマンド配信
出席者	【教員】23名 【職員】21名 計44名（Forms 回答者数）

研修形式と内容	講師	研修記録（概要）
2020年共同研究費 採択者研究報告	理学療法学専攻 肥田 光正 講師	「マーカレスな矢状面状の脊柱姿勢 アライメント測定法とレントゲン測 定結果との妥当性分析調査」
	理学療法学専攻 今岡 真和 講師	「フレイル、認知機能低下に関わる 要因のコホート調査」
	理学療法学専攻 今井 亮太 助教	「腰痛を有する労働者の疼痛関連動 作の運動学的分析」

※ 動画配信し Forms を利用して質疑などを回収、発表者から各々返答頂いた。
【配布資料】 なし

研修会名	2021年度 第5回 FD・SD 研修会
実施日時	2021年11月2日(火) 10:40~12:10
場所	第1中講義室・Teams・Streams オンライン研修
出席者	【教員】37名 【職員】29名 計 44名 ※ 動画配信での自己研修 含む

研修形式と内容	講師	研修記録(概要)
2021年着任教員 自己紹介を含めた 研究発表について	作業療法学専攻 堺 景子 教授	「これからの抱負について」の演目 で講演していただいた。
GPA 評価の推移に ついて	IR 室室長 坪田 裕司 教授	2015年度から2020年度までのGPA 評価の推移についての分析した結果 を講演していただいた。
学生の学修状況の 見える化と学力向上 支援プロジェクト	学修支援委員会委員長 久利 彩子 准教授	成績下位学生や退学者のGPAを分析 し学力向上支援プロジェクトについ て説明等を講演していただいた。

<p><b>【配布資料】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「GPA 評価の推移について」(IR 室)</li> <li>・「学生の学修状況の見える化と学力向上支援プロジェクト」(学修支援委員会)</li> </ul>
--

研修会名	2021年度 第6回 FD・SD 研修会
実施日時	2021年12月14日（火）10：40～11：30
場所	オンライン Teams・オンデマンド配信
出席者	【教員】37名 【職員】30名 合計 67名 ※ 動画配信での自己研修 含む

研修形式と内容	講師	研修記録（概要）
令和4年度 シラバスについて	教務委員会委員長 岡田 守弘 教授	令和4年度シラバスについて説明があった。
令和3年度前期 授業評価アンケート フィードバック	FD・SD委員会委員長 坪田 裕司 教授	令和3年度前期の学生による前期授業評価について全体をまとめたものをフィードバック

**【配布資料】**

- ・「2021年度前期学生による授業評価アンケート集計結果」（FD・SD委員会）

研修会名	2021年度 第7回 FD・SD 研修会
実施日時	2022年2月1日(火) 10:40~11:40
場所	オンライン Teams
出席者	【教員】37名 【職員】30名 合計 67名 ※ 動画配信での自己研修 含む

研修形式と内容	講師	研修記録(概要)
2022年度の入学予定者に対する入学前教育について	学修支援委員会委員長 久利 彩子 准教授  学修支援委員会 嶋野 広一 講師  株式会社 ラインズ 林 大二郎 氏	令和4年度入学予定者用に導入したカワリハドリルについて概要説明があり、現時点での入学予定者の活用現状報告も併せて報告された。  またカワリハドリルの販売元である株式会社ラインズ担当者から詳しい使用方法や在校生に対しての活用方法等、製品紹介があった。

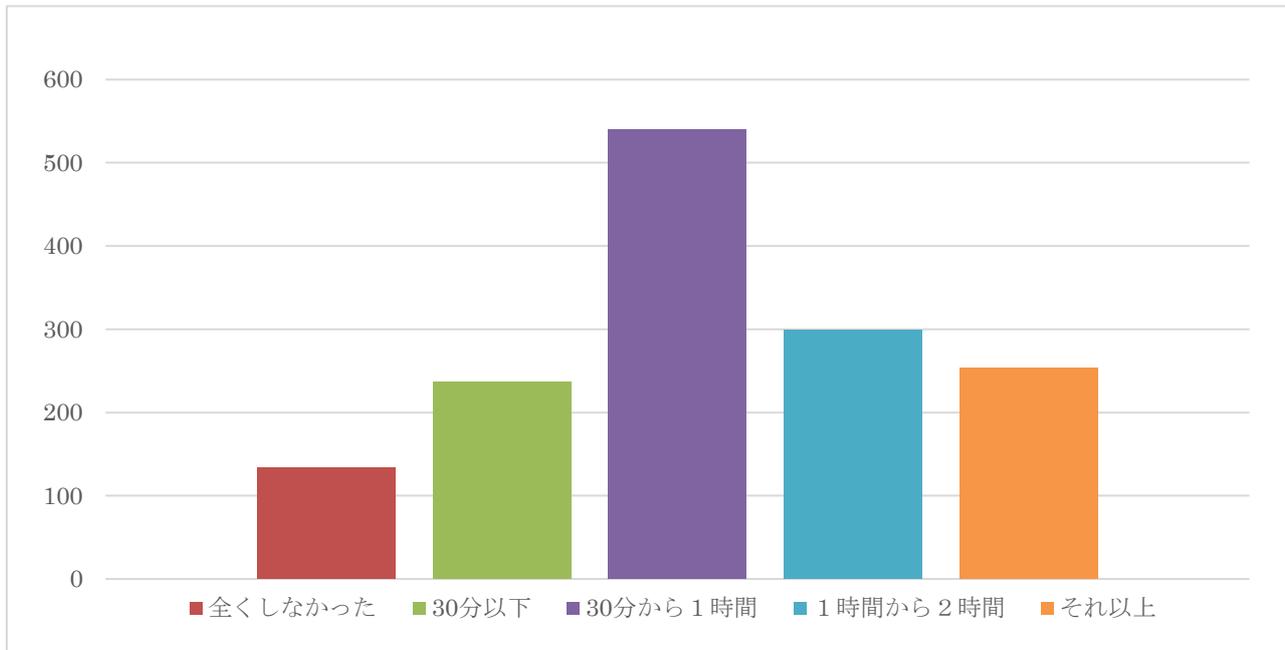
**【配布資料】**

- ・「2022年度の入学予定者に対する入学前教育について」(FD・SD委員会)

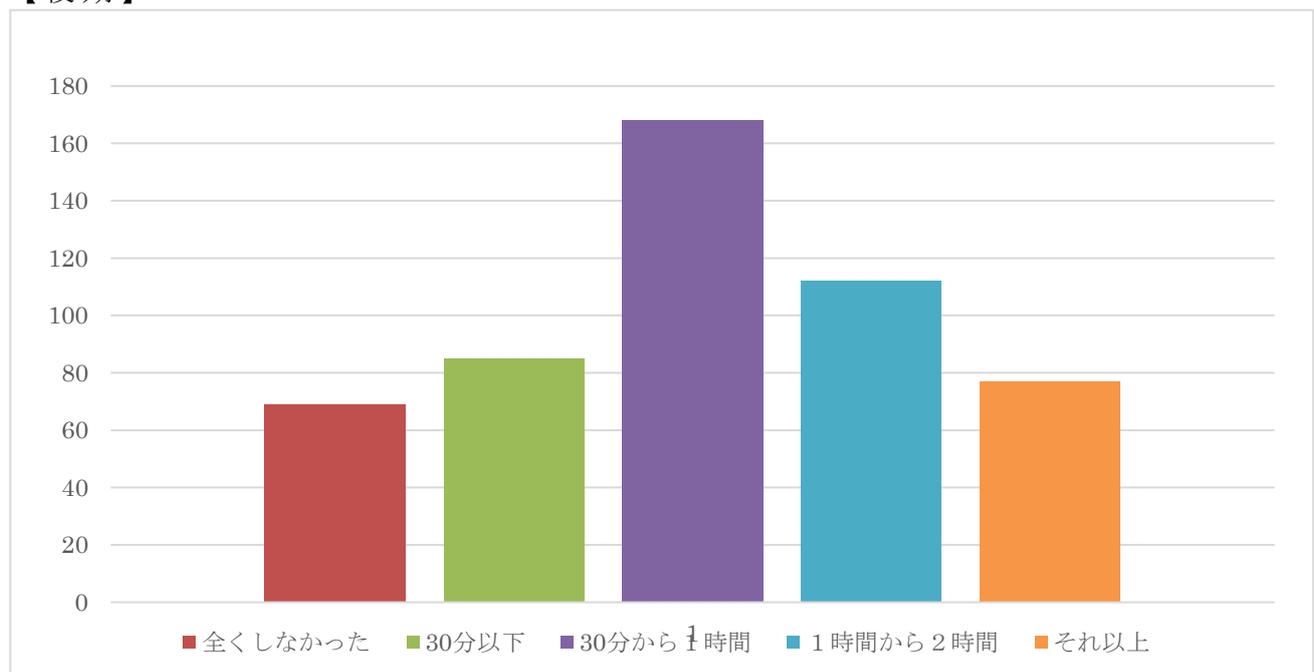
## 5. 授業評価アンケート分析結果

1. この授業の予習・復習・レポートの作成等に1週間で何時間取り組みましたか。

### 【前期】

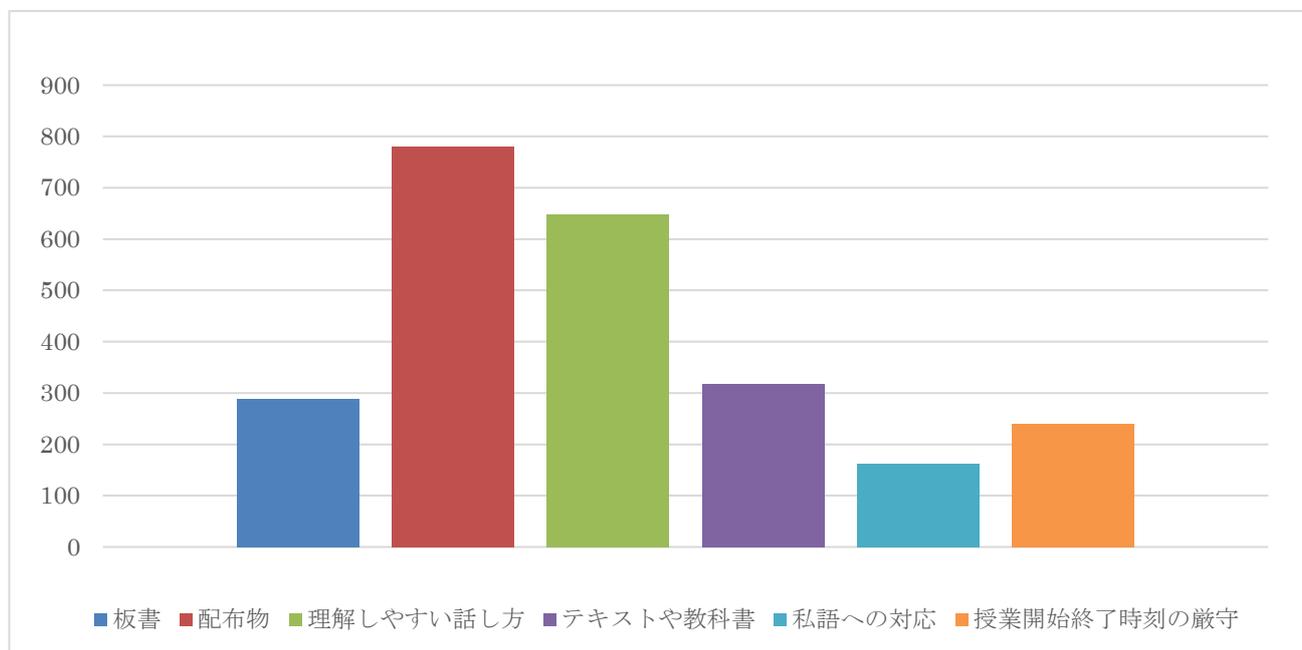


### 【後期】

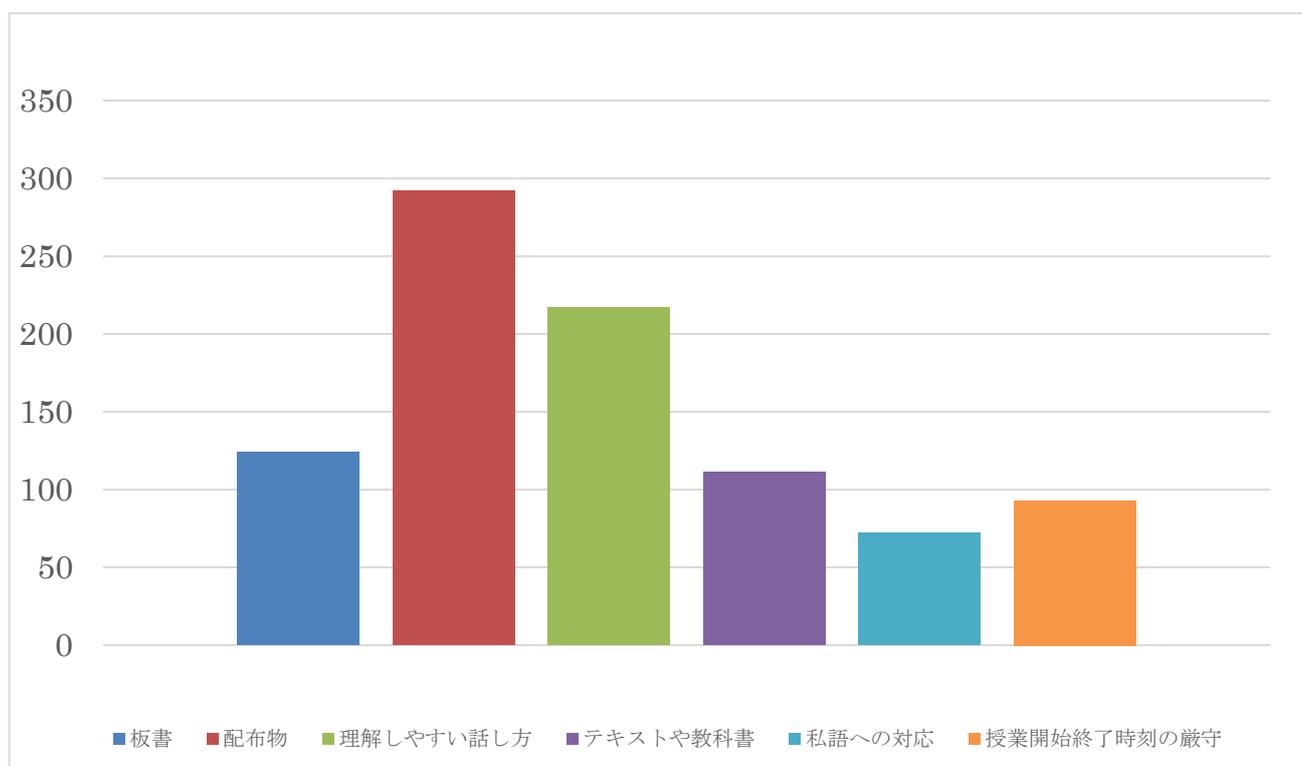


2. この授業で良かった点を全て選んでください。

【前期】

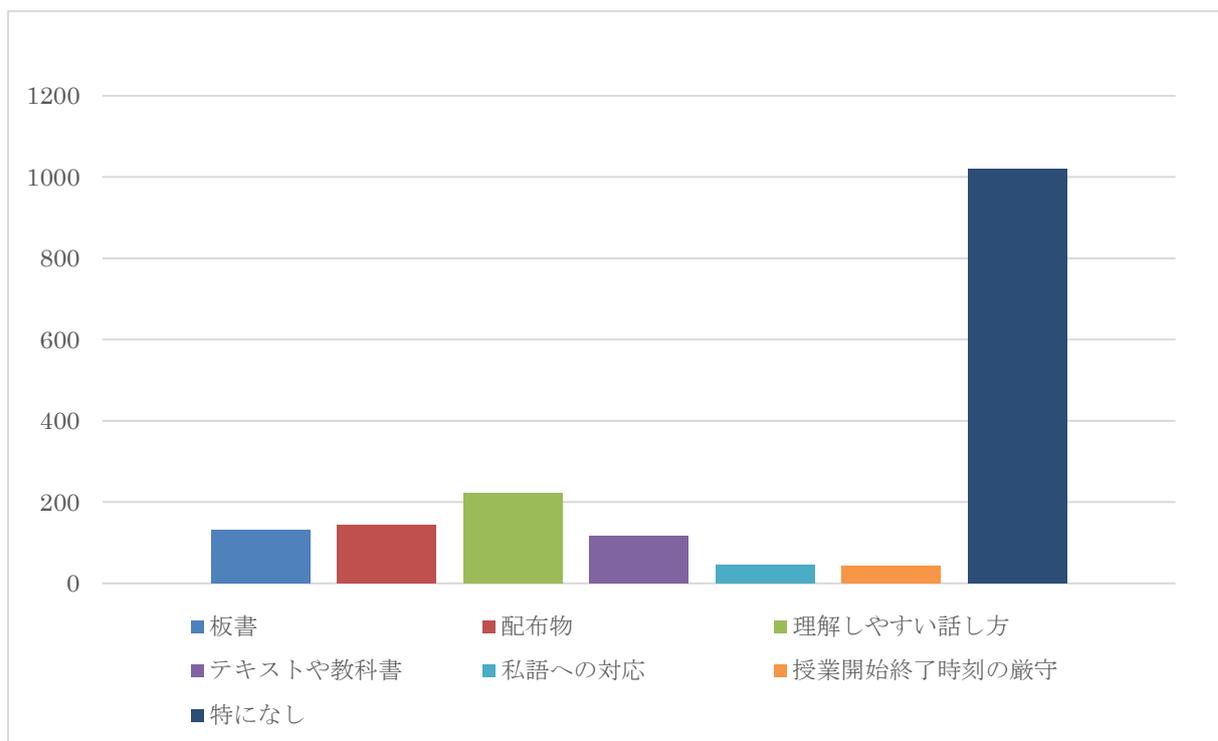


【後期】

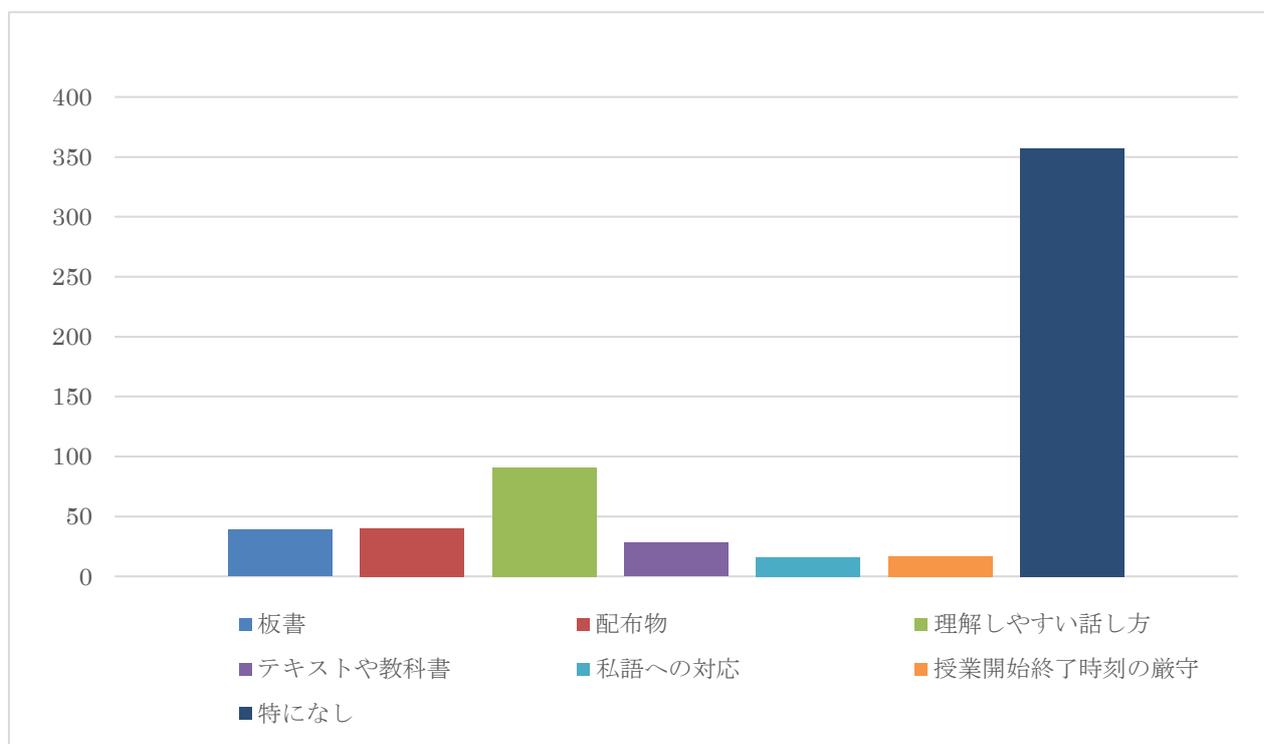


3. この授業で改善してほしい点を全て選んでください。

【前期】

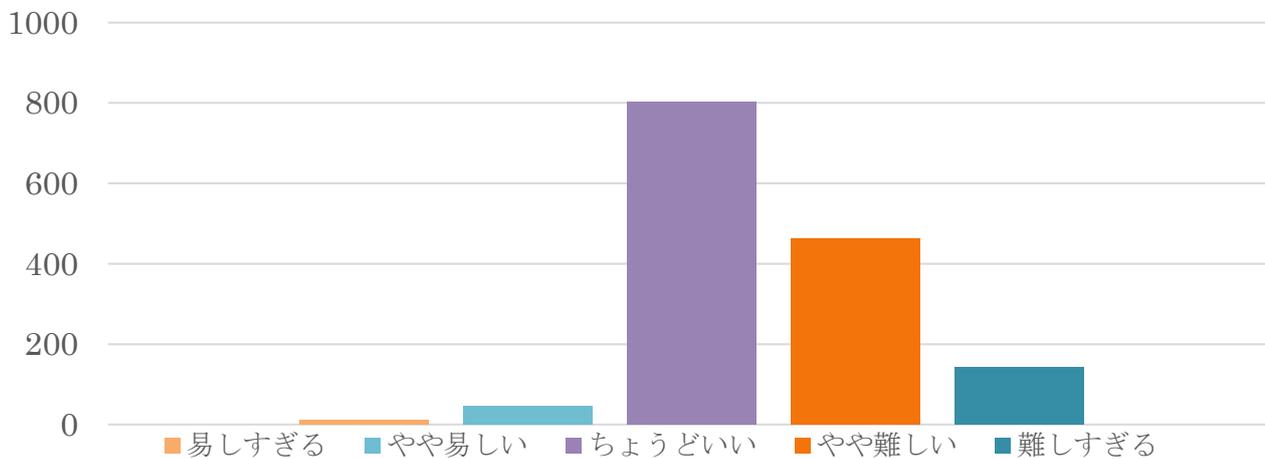


【後期】

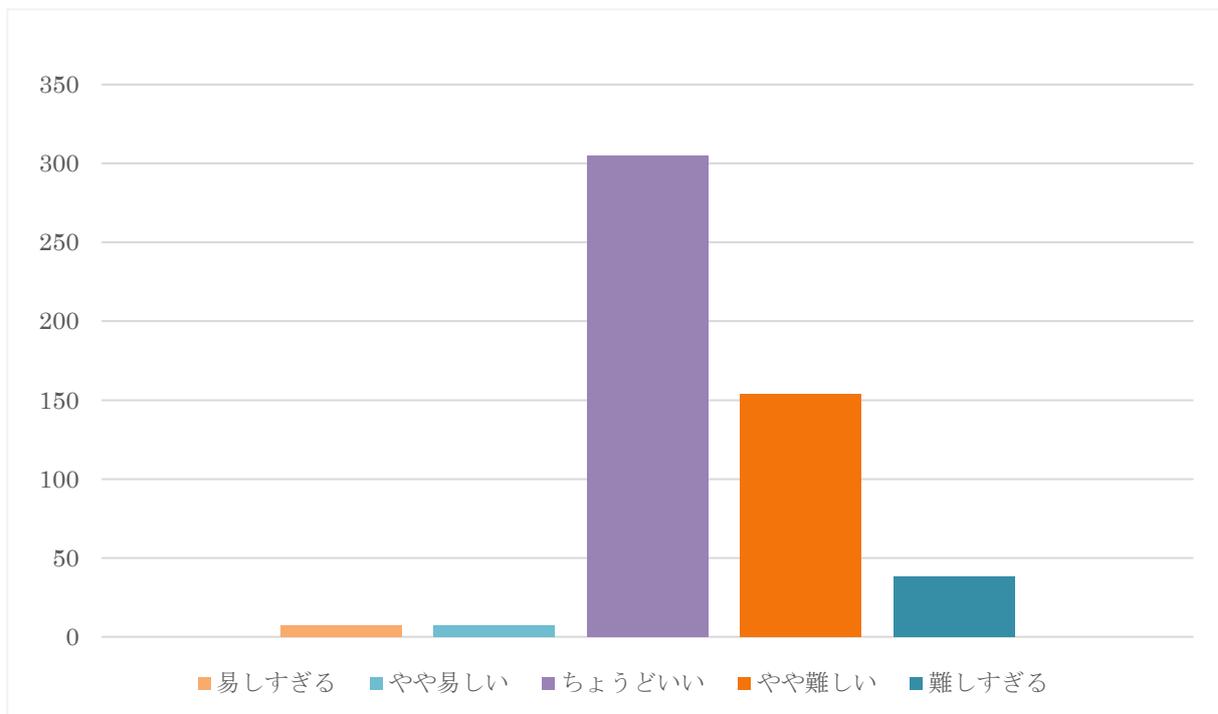


4. 授業の難易度は適切で理解可能な範囲でしたか。

【前期】

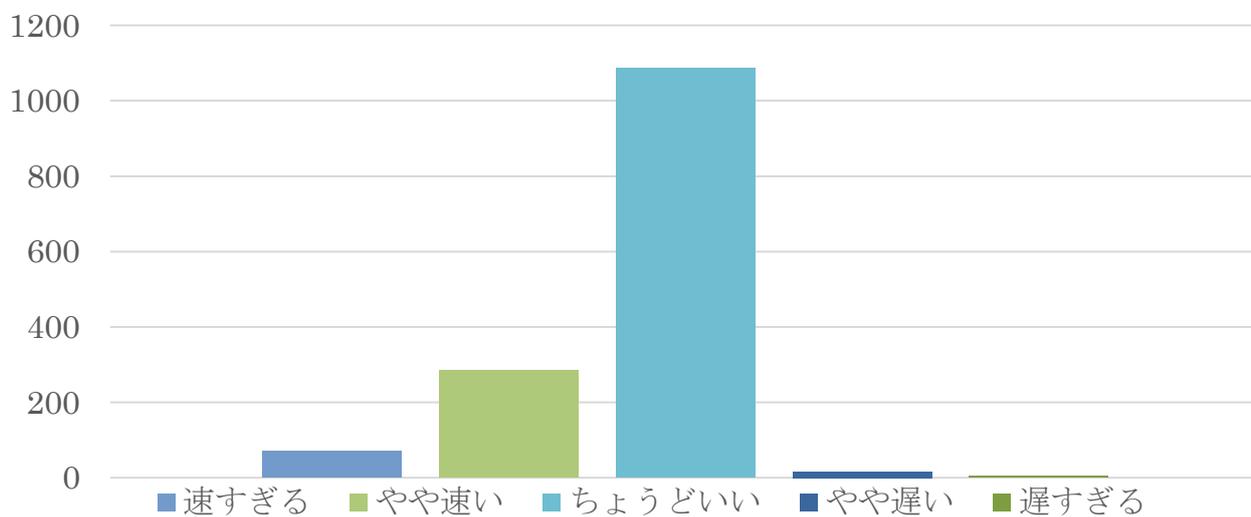


【後期】

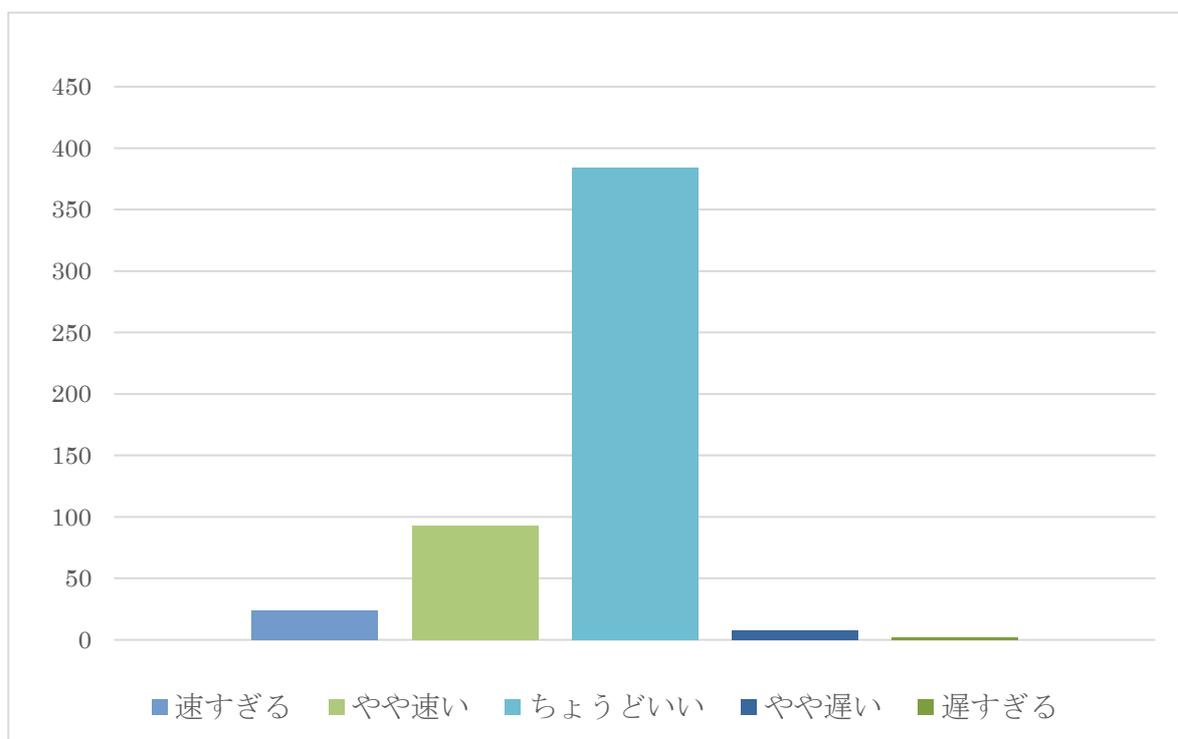


## 5. 授業の進度は適切でしたか

### 【前期】

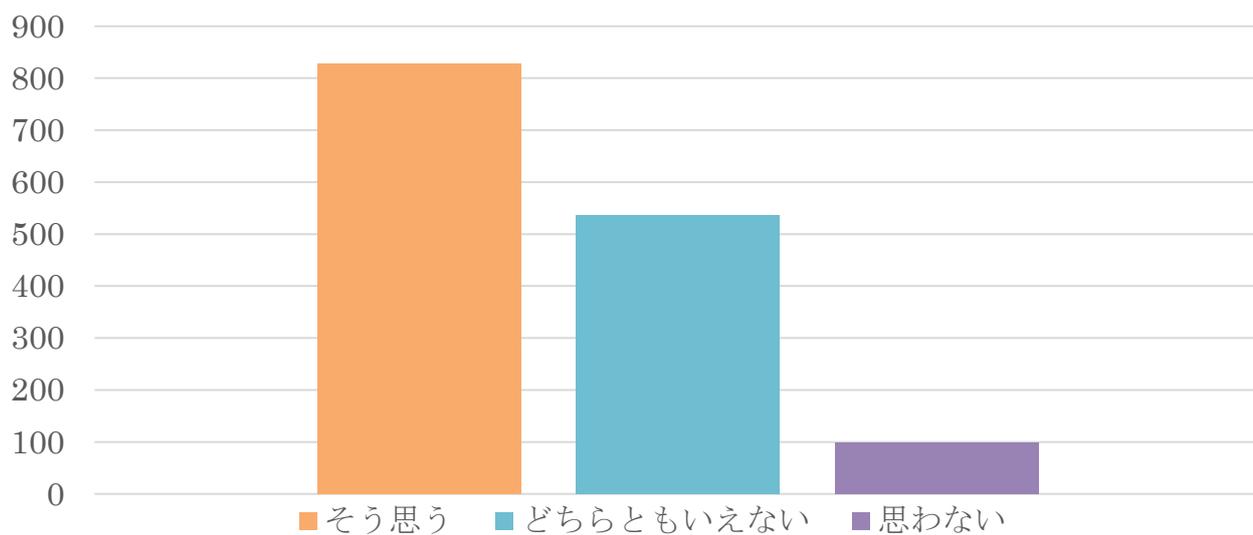


### 【後期】

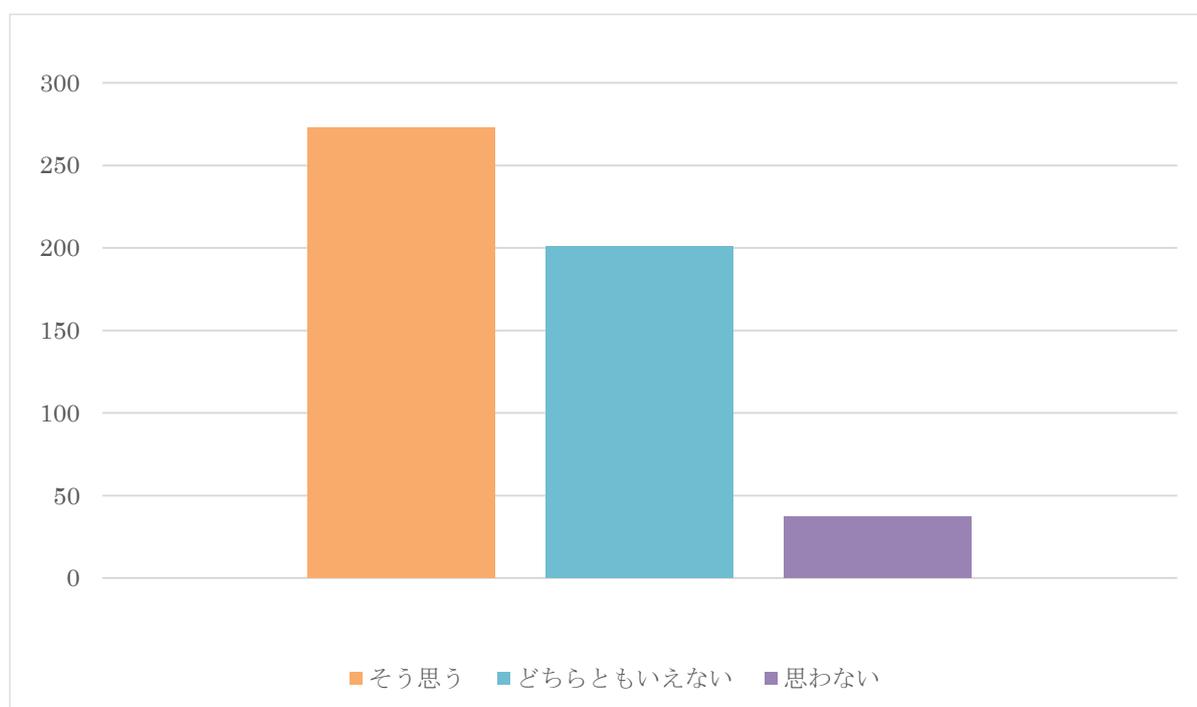


6. 教員は学生に授業への参加（質問・発言・自主的学習）を促し、質問や討論に十分に対応していましたか。

【前期】



【後期】



7. Teamsを使った授業（オンライン授業）について自由に記載してください。

内容	前期	後期
肯定的意見等	289件	92件
改善要望等	154件	62件

8. その他コメントや感想を記入してください。

内容	前期	後期
肯定的意見等	202件	198件
改善要望等	67件	68件

平成 29 年 9 月 19 日  
大学規程第 5 号

(設置)

第 1 条 大阪河崎リハビリテーション大学（以下「本学」という。）は、本学の建学の精神及び教育理念の実現に向け、ファカルティ・ディベロップメント（以下「FD」という。）及びスタッフ・ディベロップメント（以下「SD」という。）を積極的に推進するために、FD・SD 委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(目的)

第 2 条 委員会は、本学の教育・研究内容及び教育方法の向上及び教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るための教職員の能力並びに資質向上のため、全学的な取組みを推進することを目的とする。

(組織)

第 3 条 委員会は次の構成員で組織する。

- (1) 学長が任命した者 5 名程度（各専攻の教員 1 名以上を含む）
- (2) 事務職員 若干名

2 事務職員は、学長、事務局長の協議に基づき、学長が指名する。

3 委員の任期は 2 年とし、再任を妨げない。

4 委員に欠員が生じた場合は、これを補充しなければならない。ただし、後任者の任期は前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第 4 条 委員会に、委員長及び副委員長を置く。

2 委員長及び副委員長は委員の中から学長が指名する。

3 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

4 委員長に事故又は支障があるときは、副委員長がその職務を代行する。

5 委員長が必要と認めた場合は、委員以外の教職員の出席を求め、意見を聴取することができる。

6 委員長は重要な事項については教授会に提案し、了承を求めなければならない。

(協議事項)

第5条 委員会は、次の事項を協議する。

- (1) FD・SD研修の企画・実施
- (2) 学生による授業評価の結果分析及びフィードバックに関する事
- (3) FD・SD活動に関する情報の収集と提供に関する事
- (4) その他FD・SDの推進に関する事

2 前号第1号に規定するFD・SD研修の実施に当たり、委員は講師候補者推薦書(様式第1号)を委員長に提出することができる。

(会議)

第6条 委員会は、委員の3分の2以上の出席がなければ会議を開くことができない。

2 議決を要する事項については、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

(事務)

第7条 委員会の事務は、庶務係が行う。

(改廃)

第8条 この規程の改廃は、教授会に諮り、学長が行う。

(補則)

第9条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が定める。

附 則

1 この規程は、平成29年10月1日から施行する。

2 この規程の施行に伴い、平成17年12月5日施行の「大阪河崎リハビリテーション大学ファカルティ・ディベロップメント委員会規程」は、廃止する。

附 則(平成31年3月25日大学規程第31号)

この規程は、平成31年4月1日から施行する。

附 則(令和3年3月16日大学規程第15号)

この規程は、平成3年3月16日から施行する。